

アルビオン 平成30年度 入社式を開催

>>>2018. 03. 30

株式会社アルビオンは、3月29日、八芳園(東京・港区)にて「平成30年度 入社式」を行い、212名(営業職9名、研究職2名、生産職3名、BA職198名)の新入社員を迎えました。
入社式における小林章一社長の挨拶(要旨)を下記のとおりお知らせ致します。

小林章一社長挨拶 要旨

皆様、ご入社おめでとうございます。
このたびはたくさんの会社の中から、私もアルビオンを選んでいただいて本当にありがとうございます。皆様と一緒に仕事ができることを大変うれしく思っております。



自分自身が納得できる仕事人生を

人生は1回です。皆様の大切な人生の中のたくさんの時間を、これからお仕事に費やしていただきます。肩書きやお給料も大切ですが、やはりご自身が納得できるお仕事をさせていただきたい、そういう人生を歩んでいただきたいと思います。

もちろん仕事ですから、悩んだり苦しんだり、たくさんの失敗もあると思います。私も人生でやってきたこと、99%は失敗でした。ただ、その99%の失敗が今の私を作っているのも事実だと思っています。諦めないで一生懸命努力していれば、1%の感動があるということを、私自身実感しています。

皆様にも色々なことに挑戦してほしいと思います。仕事をしていくうえで「あれをやらなければよかった」という後悔はいくらしてもいいと思うんです。だけど「あれをやっておけばよかった」という後悔は、なるべくしないような人生を歩んでいただきたいと思います。

アルビオンが大切にしていること

アルビオンが一番大切にしているのは「人」です。人と人との信頼関係を大事にする会社でありたいと思っています。そして、お客様お一人おひとりに喜んでいただく、ご満足いただくことを原点に考えています。

お客様に、今日アルビオンに行ってよかった、あの美容部員さんに会えてよかった、そう思っただけのような会社でありたい。ですから美容部員の皆様は、お客様のお話をよく聞いて、そしてお客様お一人おひとりをよく見てあげていただきたい。一人の同じお客様でも、体調や季節によってお肌の状態も全然違うと思うんです。そういう接客をぜひ大切にしていきたいと思います。

一流に触れる機会をつくる

アルビオンのお客様は、一流の方々ばかりです。ですから、皆様も出来る範囲の中でぜひ一流に触れる機会を自ら作っていただきたいと思います。

ブティックに入るだけでも何かを感じると思うんです。あるいは少しお金を貯めておいしい一流レストランに食べに行くのでもよいと思います。そういうことが必ず皆様のお仕事や人生に役立っていくと思います。もちろん会社もそういう機会をできる限りつくる努力をしていきます。

アルビオンは世界一のプレステージメーカーを目指して、皆様と一緒に歴史をつくっていきたくと思っています。これから一緒にがんばっていきましょう。